

平成 25 年第 22 回

札幌市教育委員会会議録

※ 非公開に係る議案を除く

平成25年第22回教育委員会会議

1 日 時 平成25年12月13日（金） 13時30分～14時15分

2 場 所 S T V北2条ビル4階 教育委員会会議室

3 出席者

委員長	山 中 善 夫
委員	臼 井 博
委員	阿 部 夕 子
委員	町 田 隆 敏
教育次長	西 村 喜 憲
生涯学習部長	梅 津 康 弘
学校教育部長	金 山 正 彦
教育推進課長	井 口 誠 一
学事係長	村 田 行 信
学事係員	大 西 俊 之
学事係員	古 市 北 斗
中央図書館長	江 本 功
調整担当課長	千 葉 真
企画担当係長	宮 野 純 一
総務課長	杉 村 亮
庶務係長	井 上 達 雄
書 記	市 川 渉

4 傍聴者 2名

5 議 題

報告第1号 (仮称) 絵本図書館のレイアウトについて

議案第1号 平成26年度札幌市奨学生（予約採用）の選択について

【開 会】

○山中委員長 それでは、ただいまから、平成25年第22回教育委員会会議を開会いたします。

本日の会議について、会議録の署名は、臼井博委員と阿部夕子委員にお願いいたします。

また、池田光司委員と池田官司委員から、所用により、本日の会議を欠席する旨のご連絡がありました。

本日の議案第1号については、奨学生の選定に関する事項でございますので、教育委員会会議規則第14条第1号の規定によって公開しないこととしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○山中委員長 それでは、本日の議案第1号については、公開しないことといたします。

【議 事】

◎報告第1号 (仮称) 絵本図書館のレイアウトについて

○山中委員長 それでは、報告第1号について事務局からご説明をお願いします。

○中央図書館長 中央図書館長の江本でございます。

報告第1号 (仮称) 絵本図書館のレイアウトについてでございます。

今年7月に、検討状況について報告いたしました。レイアウトが概ね固まってきたことから、改めて報告させていただきます。

レイアウトにつきましては、子どもの読書活動に精通した有識者、絵本研究、幼稚園教諭経験者、読み聞かせボランティアの代表者などで構成する有識者懇談会でいただいたご意見、さらに、白石区民の代表者で構成する区民検討会のご意見を反映しました。

別紙のA3判の資料をご覧くださいと思います。

レイアウトの説明に先立ち、絵本図書館の設置目的と機能について改めて説明を申し上げたいと思います。

まず、左上の1「(仮称) 絵本図書館の設置目的」でございます。

第2次子どもの読書活動推進計画を踏まえ、現在、子どもの発達段階に応じた本を楽しむための環境づくりに取り組んでいるところであり、中でも、生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼児期における読書のきっかけづくりが特に重要であると考えております。しかし、既存の図書施設では、幼児にも大人と同様、一律に静寂性を求める傾向がありまして、自由に楽しく本を読む環境にあるとは言えません。また、保護者をはじめ、子どもの読書活動に関わる方々への読み聞かせや選書方法などの支援機能が不足していると考えております。

以上のことから、幼児期からの読書のきっかけづくりを主たる目的として絵本図書館を設置するものでございます。

次に、2「(仮称) 絵本図書館の機能」でございますが、大きく二つに整理しております。

1点目は、就学前の幼児及び保護者、また、幼稚園や保育所などの団体に対して、多くの絵本に囲まれ、読書を楽しみ、学べる場を提供することであり、書架・閲覧スペース、そして、体験型活動室を通して、その機能を発揮できるものと考えております。

2点目は、子どもの読書活動に深くかかわりのある保護者やボランティア、幼稚園・保育所などの指導者の方々に対して、幼児の読書活動や読書活動を通じての子育てを支援することございまして、主に、ボランティア等活動室でその機能を発揮していきたいと考えております。

そのほか、事務室、カウンター等を合わせ、全体面積は505平方メートル程度となります。

次に、3「(仮称)絵本図書館のレイアウト」でございます。

このレイアウトは、平成28年度に整備される白石区複合庁舎6階の一部で、右の青い破線の左側が新設する絵本図書館、右側が現在も白石区民センター内に設置しており、そして、複合庁舎内に移転してくる白石区民センター図書室となります。

7月の報告から変更した点が大きく二つあり、1点目は、絵本図書館と区民センター図書室の配置を左右入れ替えたことです。左手バルコニー側は、全面ガラス張りのため、効率よく採光できますが、区民センター図書室の本棚は、背丈が高く採光を遮断してしまうことから、低書架で統一する絵本図書館を左側に配置するほうが望ましいと判断いたしました。

2点目は、エレベーターをおりた両施設の出入口部分の外側を交流スペースとしております。この二つの施設の利用者同士の交流やさまざまな情報発信の場となることなどを想定しており、これは、白石区民の代表者で構成する区民検討会からの提案を反映したものです。幼稚園、そして、保育所などの団体利用の際にも必要なスペースであると考えております。

次に、絵本図書館内の主な特徴についてでございます。

大きな割合を占める書架・閲覧スペースは、幼児と保護者が絵本を楽しむ場であり、学校の教室5つほどの広さになります。その中央部には、絵本の森と称した靴を脱いで上がれるスペースを設け、親子で安心してくつろいで絵本を楽しんでいただきたいと考えております。

絵本棚は、幼児の身長を考慮して低いものを用意し、絵本の内容がイメージしやすいように、極力、表紙を見せた配架としたいと考えております。

また、書架・閲覧スペースを囲むように、ボランティア等活動室、体験型活動室、事務室、カウンターを配置しております。

ボランティア等活動室は、ボランティアの方々の打ち合わせや創作活動のほか、さまざまな研修、講演会等を行うスペースです。隣の体験型活動室は、幼稚園・保育所などから団体で来館した際の受け入れ、指導、休憩スペースとして、また、読み聞かせや映画の上映、工作会をはじめとするさまざまなイベントにも活用できるスペースです。この二つの部屋は、可動型の間仕切りとなっておりまして、必要に応じて一体的に利用することもできるようにしたいと考えております。

そのほかのポイントといたしまして、まず、施設全体にガラススクリーンを多用することにより、十分な開放感を演出するつくりとしております。また、授乳室、子ども用トイレの設置、トイレ内のベビーベッドの設置、ベビーカー

置き場を複数確保するなど、乳幼児を連れた保護者にも配慮しております。

以上が、絵本図書館のレイアウトの概要となります。

現在、有識者で構成する懇談会を立ち上げ、絵本図書館で提供する具体的なサービス、ソフト面の内容を検討しておりますので、今後も、適宜ご報告させていただきます。

以上でございます。

○山中委員長 ありがとうございます。

何か、ご質問あるいはご要望はありますか。

○臼井委員 明かりをとるために左右を替えたと言いついて、なるほどと思いました。子ども以外の人を対象とするなら、できるだけ蔵書数を多くしてほしいところなので、これはとてもよい変更点だと思ったのが一つです。

質問は、中央図書館で開架が2万冊ぐらいということですが、今度の白石の図書館では、およそどのぐらいの蔵書を予定しているか、お願いいたします。

○中央図書館長 現在、2万冊ぐらいを想定しております。

○臼井委員 ということは、中央図書館と同じぐらいの規模ですね。

○中央図書館長 そうですね。ここは、絵本図書館ということで、子どもの読書活動の拠点になりますが、中央図書館にもそういった部門がありますので、市内全域で見れば、拠点が2つになる形です。

○臼井委員 例えば、絵本の中でも、最近、いろいろな仕掛けのついたものやDVD付きのものもあります。冊数のほかに、特色として何かお考えをお持ちですか。

○中央図書館長 今、幼児教育センターとも協議しておりますが、大型の絵本を所蔵しておりますので、こちらのほうでお預かりする形で、幼稚園等も借りられるようにしたり、デジタルの絵本も取り入れていきたいと考えております。

○臼井委員 保育所や幼稚園からのグループ利用や、読み聞かせのためのスペースもかなりとおられるので、積極的に大きな絵本を入れていただければという希望です。

○山中委員長 ほかにございますか。

○阿部委員 蔵書が2万冊ということで、この地図の右側にある検索機というのは、よく図書館にあるパソコンにキーワードを入れて探す検索機のことですか。

○中央図書館長 そういうものです。

○阿部委員 これは、全部で何台ぐらい設置する想定でしょうか。

○調整担当課長 台数につきましては、これから検討いたします。

○阿部委員 場所は、ここの右側のエリアのみですか。

○中央図書館長 そうです。

○阿部委員 2万冊からお子さんの目的の絵本を探すのが大変そうなので、検索機の位置は1か所だけではなくて複数箇所にあるといいと思います。

○中央図書館長 図書館なので、所蔵している本がきちんと分類されている必要があります。一方で、表紙を見て、中身を開いて、読んでみてよかった、そうでもなかったという楽しさを感じてほしいとも考えております。

目的が決まっていって探す場合は、検索機で所定の絵本を探すことになりますが、表紙からこの本は面白そうだと思うってもらうなど、興味を引き出す工夫もしたいと考えております。

○阿部委員 自分の子どもの年齢にどんな児童書が適しているのかがわからないお母さんもとても多くいます。ですから、可能かどうかわかりませんが、データベースなので、自分の子どもの年齢から逆引きできるなど、お母さんにとって探しやすいものがあると良いのではと思います。

○中央図書館長 私ども職員でそういったリクエストに対して、このぐらいの年齢だったらこんなものがあります、ということも積極的に案内していこうと考えています。

○阿部委員 データベースだけでなく、サインで表示することもできますか。

○中央図書館長 季節や時期に応じた企画として、こんな本がありますということも見せていきたいと思っております。

○山中委員長 ほかにございますか。

今あったような要望や、配架する本を検討する中で、いろいろ出てくるでしょうが、よろしくをお願いします。

それでは、報告第1号につきましては、以上とさせていただきます。

議案第1号からは公開しない議案となりますので、傍聴の方はご退席をお願いいたします。

以下 非公開